

『計算練習』の使い方

最終チェックが終わっていないのでエラーがいくつかあります。

電子メールに添付されている Data.zip のファイルをデスクトップあたりに保存してください。

インストールは自動ではできませんので、圧縮フォルダー「Data」の中にある「計算練習」のフォルダーをデスクトップあたりに取り出して使ってください。その後、Data は、マイドキュメントに移動するなり、削除するなり、自由に決めてください。フォルダーを開いてその中から「Keisan2」起動してください。



1. 設定

起動した Window の「なまえ」の欄(図 1)に半角で system と入力(図 2)してください。

日本語変換が ON 状態なので OFF にしてから入力してください。

[始める]ボタンをクリックで、設定画面(図 3)に入ります。

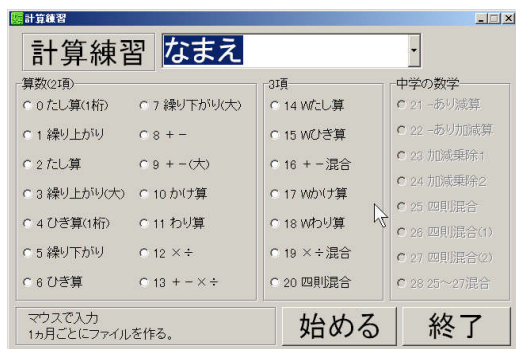


図 1

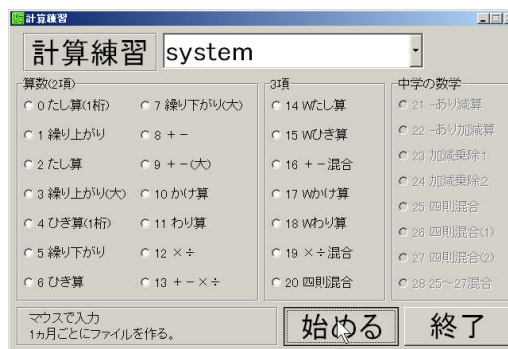


図 2

家庭での利用なので、名前リストの設定は必要ありませんが、ここで、利用する家族の名前を一人一行で入力しておくとも便利かもしれません。保護者の方の名前もとうろくして競うのもお楽しみの一つです。

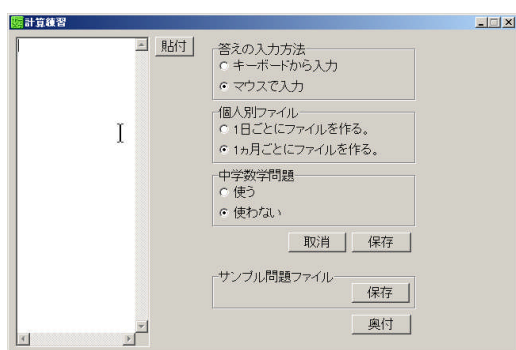


図 3

設定項目

答えの入力方法

デスクトップパソコンでフルキーボードでテンキーがそろっている場合、また、ノートパソコンでもテンキーをつないでいる場合は、キーボードからの入力の方が便利です。

ノートパソコンの場合は、マウスで入力の方が便利です。

ファイルの保存

1日単位か、1ヶ月単位で間違った問題を記録します。

この記録は、1回戦10問が終了するとその都度表示されます。また、Windows 付録のメモ帳や、MS-word で開くことも可能です。

中学の問題

使うか使わないか。

上記項目について、選択し、[保存]をクリックすれば、設定が反映されます。設定ファイルが保存されます。(Windows 7 において設定情報が有効にならないことがあります。)

2. 計算練習

計算練習してみる。名前を登録した場合は、「なまえ」の右横の下向きの三角を押せば、候補がでます。

登録していない場合は、ここで、新たに名前を入力します。この入力でも、登録されます。

1. 名前をえらびます。(図 4)
2. 問題を選びます。グループ分けしていますが、どれか1個しか選択できません。
3. [始める]をクリックします。
4. 計算練習の画面に切り替わります。(図 5)
5. キーボード入力の場合、数字を入力し、[Enter]キーで確定します。また、マウス入力の場合、数字をクリックして[決定]ボタンで確定します。
6. 10問終了すると結果が表示されます。(図 6)
7. [もどる]で、最初の画面にもどります。

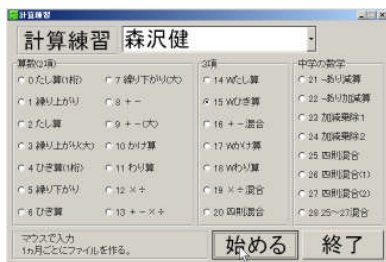


図 4







図 5



図 6

使用に伴い発生するファイル。

 Setting Configuration Settings 1 KB	設定の内容が保存されます。
 namae.dll	登録した名前が格納されるファイル。
 使用状況 Microsoft Excel CSV ファイル 1 KB	使用状況と時間や点数の記録が格納されます。Excel ファイルに直して達成度などグラフを作ることができます。ファイルが大きくなるとエラーを起こすので、時々削除するか、別名で保存する方法をとってください。
 森沢健,2011-05-14 テキスト文書 1 KB	個人別の記録で、間違った問題などが記録されます。設定条件にしたがって、月ごと、または、日ごとのファイルをいくつも作成します。